

モニタリング結果報告書 (令和元年度)

1. 施設概要

施設名	四季の森公園		
所在地	横浜市緑区寺山町・旭区上白根町		
サイトURL	http://www.kanagawaparks.com/shikinomori/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例（昭和32年神奈川県条例第7号）		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進（昭和32年4月）		
指定管理者名	四季の森公園パートナーズ		
指定期間	H27. 4. 1 ~ R4. 3. 31 (2015年) (2022年)	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況がB評価、利用者の満足度がA評価、収支状況がB評価となり、3項目評価の結果はBとなった。収入の柱である駐車場等の利用率向上のため、リピートを促すプログラムや広域的な利用を促すプログラムの提供に取組んでいくことが望まれる。また、継続的なボランティア活動を維持していくため、引き続きボランティア育成講習を継続する等、受け皿の整備に努めてもらいたい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <ul style="list-style-type: none">◆管理運営等の状況 里山の自然を素材とした利用促進プログラムの充実や自然情報の収集整理を進め、当公園のポテンシャルを最大限活用した管理運営の推進と充実による魅力向上が求められる。 また、適切な樹木管理による美観と安全な利用環境の提供に努めていくことが必要である。◆利用状況 3月のイベント中止もあり、利用者数は、前年度比95.6%、目標達成率は95.3%となり、B評価となった。◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が89.7%のためA評価となったが、花菖蒲の花付きや案内板の不足等の不満も多く見られたため、花付きを改善する株分けや案内板の充実を図っていく必要がある。◆収支状況 駐車場等の収入が低調な中で、台風による植物管理が支出増となり、収支比率が97.65%のため、B評価となった。過年度から駐車台数は減傾向であるため、広域利用を促す取組みが必要である。◆苦情・要望等 公園外周樹木が歩行空間等に張り出していたほか、台風による園内の伐採木等が整理されていなかったことへの苦情に対し、全周を確認の上、剪定等を行い、園内仮置き場所への集積を行った。◆事故・不祥事等 3/3にバランススクーターが走行中に転倒する事故が発生したが、使用禁止の掲示場所での事故であり、発生場所での施設の破損等、管理上の瑕疵は認められない。◆労働環境の確保に関する取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。◆その他 3項目評価はB評価とした。今後は、より魅力的な里山の風景づくりに加え、快適な利用環境を提供する適切な管理の実施に努めてもらいたい。	
3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう
B	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	適宜	公園外周等の樹木管理状況の確認
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
園内活動団体と連携した人材育成方策として、ガイド育成講座を14回開催する。	野草ガイド養成講座として、12月と3月以外の毎月実施。延べ118名が受講した。	計画どおり実施しており、今後も、人材育成の継続が望まれる。
里山の紹介や魅力づくりのため、歳時記に合わせた伝承文化や昔遊び等の展示やイベントを、毎月開催する。	草笛教室やクラフト教室、染物教室、七夕飾り等を毎月実施、参加人数は、1,255人であった。	計画どおり実施しており、今後も、里山の遊びの継承が望まれる。
閑散期の利用者増等を目的に、他の県立公園と共同でクイズラリーを行う。	12～5月に、他の県立3公園と連携して実施。参加人数は882人であった。	計画外の取組みだが、好評なため、さらなる工夫と継続が望まれる。
閑散期(1～3月)の利用者増のため、焼き芋、干し柿づくり等、冬の里山風景づくりを行う。	カキの苗木を2本植栽し、干し柿づくりを行い、季節を彩る演出がされた。	風物詩としての魅力的な点景づくりの継続が望まれる。
平成29年度に検討した、はず池の底泥浚渫、再資源化工法について、試験施工し、経過観察を行う。	3月に吸引による底泥(2トン)の浚渫を行った。	試験施工の結果を踏まえた効果的な実施方法の確立が望まれる。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
有料駐車場事業の継続	臨時を含む2箇所の有料駐車場を運営した。
自動販売機の設置継続	園内各所に設置した8台の飲み物等の自販機設置を継続した。
売店経営の継続	社会福祉法人に業務委託し、菓子や飲み物等を販売する売店を1箇所経営した。

5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
B	

	前々年度	前年度	令和元年度
利用者数※	669,955	731,271	699,382
対前年度比		109.2%	95.6%
目標値	710,691	727,000	734,000
目標達成率	94.3%	100.6%	95.3%

目標値の設定根拠：

提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車場利用台数×10+団体利用人数+イベント参加者数+来園団体への聞き取り

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
A	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施	県による休日3回、平日3回、イベント時1回の計7回調査の結果を使用する。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 145 / 145 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	88	42	5	5	5	145	散歩によい 菖蒲田が貧弱
回答率	60.7%	29.0%	3.4%	3.4%	3.4%		
前年度の回答数	68	51	3	5	3	130	
前年度回答率	52.3%	39.2%	2.3%	3.8%	2.3%		
回答率の 対前年度比	116.0%	73.8%	149.4%	89.7%	149.4%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	70,405	0	13,766	駐車場：10,935 自販機：2,831	84,171	84,171	0	
	決算	70,405	0	13,790	駐車場：10,685 自販機：3,105	84,195	84,420	-225	99.73%
前年度	当初予算	70,405	0	15,012	駐車場：12,125 自販機：2,887	85,417	85,417	0	
	決算	70,405	0	12,957	駐車場：10,049 自販機：2,908	83,362	84,798	-1,436	98.31%
令和元年度	当初予算	71,709	0	14,799	駐車場：11,831 自販機：2,968	86,508	86,508	0	
	決算	71,709	0	12,974	駐車場：10,119 自販機：2,855	84,683	86,720	-2,037	97.65%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和元年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他	電話	5 件	公園外周樹木の枝を剪定してほしい。 園内に伐採樹木等が放置されている。	数日以内に剪定を行った。 3月末までに林内整備を行った。
	対面	1 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R2. 3. 3	①広場内の園路を走行していたバランススクーターが転倒、搬送された。 ②同日、指定管理者から送付された発生場所の写真を確認。 ③負傷者からの連絡がなく状況不明、施設管理上の瑕疵はない。 ④無し。 ⑤使用者が走行時にバランスを崩したため（使用禁止場所で、園路の段差もない）。 ⑥無し。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。